

### 第3学年1組 国語科学習指導案

#### 1 単元名 多角的に考える「フロン規制の物語—〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざまで」

#### 2 指導観

- 本教材は科学の成果が人類に豊かな生活をもたらしつつも、地球環境や人類に多大な影響を及ぼす場合があることを、フロンを事例として述べられた論説文である。内容はフロンを事例として、科学というものは科学によって修正されたり、補完されたりすることもあると説明した文章である。さらに、科学的な正しさは科学の営みによって変化する場合があるということも示唆されている。私たちの生活は、新しい科学的な知識や変化を得ることで豊かになると同時に、思いもよらない問題に遭遇することもある。「フロン規制の物語」では、「夢の化学物質」として開発されたフロンに危険性が発見され、その規制について巻き起こった論争とその後の展開が述べられている。多様な価値観が混在する集団生活において、人々は合意を得るために話し合いをしながら互いに歩み寄っていくことが必要である。生徒たちには、自分の意見を持ちながらも多様性を認め合う寛容な態度が不可欠なことを理解させたい。そのためにも本教材は、生徒自身が「科学」や「環境」とどのように向き合うのかを議論することによって、筆者の提示が自分たちに課された身近な問題でもあることを認識させる題材として意義深い。
- 本学級（38名）の生徒は進んで発表しようとする意欲が高く、事前アンケートでは「国語が好き」という生徒が74%を占めていた。一方では「語彙力がない」と感じている生徒が52%も存在する。確かに平成30年全国学力学習状況調査B問題の分析によると、全体的な正答率は全国平均よりも高い数値であるが、目的に応じて必要な情報を関連付けて読みとり、書き手の目的や意図、その効果を考える力（活用力）に課題を抱えていることが判明した。そのため、本教材では「読むこと」に加え、必要な資料から情報を引用したり、反論を取り入れたりしながら意見を書き、交流活動をすることで自分の考えを分かりやすく伝えることを工夫させたい。
- 本単元の指導においては、論理的な文章の構成や展開を捉え、小集団の議論を通して考察し、筆者の主張と関連づけながら自分の意見を説明することができることをねらいとする。さらに、主張を効果的に述べるうえでの資料（図表）の活用や表現の工夫にも気づかせたい。そのためにまず、第一次ではフロンの評価の明暗やフロン規制に関わる議論が分かれた点に着目させる。この事例を知ることによって、科学における絶対的信頼に疑問が生じることになる。次に、第二次では作者の主張を読み取ることで、自分の身近なまわりにも同じような事例があるのではないかと考えるようになるだろう。さらに、筆者の主張には効果的な表現や資料の使い方があることに気づかせ、自分の意見も説得力のある話にするために有効な方法があることを理解させる（小さな振り返り）。第三次では、各々が考えた課題の方策について班や全体で共有して考え、自己の学びの変容について学習全体を振り返る場を設定する（大きな振り返り）。

#### 3 目標

- 表現の工夫や筆者の見方・考え方を捉えて、自分の考えを広げようとしている。【関心・意欲・態度】
- 文章の展開や図表・小見出しのつけ方について、その意図や効果を捉えることができる。【読むこと】
- 筆者の見方・考え方を捉え、適切な語句や資料などを活用して説得力のある話をするができる。【話す・聞く能力】
- 慣用句・故事成語などに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 単元計画(7時間) 関心・意欲・態度【関】話すこと・聞くこと【話】書くこと【書】読むこと【読】伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項【伝国】

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価規準(観点：方法)
一	1 ②	1 学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 (1)単元を貫く課題を確認する。 今の地球環境をよりよくするための方策を考えよう。 (2)フロンに関する性質についてまとめる。 (3)フロン規制に向けた議論を整理する。 (4)「杞憂」「転ばぬ先の杖」の内容について理解を深める。	フロンを事例として取りあげた筆者の意図や内容を理解させる。  ・フロンに関する「優れた性質」や「隠れていた性質」を列挙させる。 ・フロン規制に向けて、どういったできごとがあったのかを①「規制を進める方向のもの」、②「規制を抑える方向のもの」の2つに分けて整理させる。	・題名に興味を示し、フロンに関する事例を取りあげた意図を理解しようとしている。【関】(様相観察) ・フロン規制に対する2つの立場を整理し、意欲的に課題解決を図ろうとしている。【関】【読】(様相観察・ワークシート) ・慣用句、故事成語を文章中の内容と関連させて理解を深めている。 【伝国】(ワークシート)
二	1 ①  2 ①  3 ①	2 筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えを書く。 (1) 筆者の主張に対する自分の意見を書く。 (2) 班で意見を交流する。 3 表現の特徴や構成の工夫について考える。 (1) 教材の冒頭で、「あなた」と書かれたことの効果を考える。 (2) 教材の構成を考え、小見出しの工夫と効果を考える。 【小さな振り返り】 筆者の主張に対して、多様な見方があることを理解する。  4 学びをひろげよう(活用力)の課題に取り組む。 (1) 図表の機能や効果について考える。 (2) 班や全体で意見を交流する。 (3) 学習全体を振り返る。 【小さな振り返り】 図表の機能や効果は、文章と関連して筆者の主張を印象づけたり、文章をわかりやすく伝えたりすることができる。	筆者の表現の工夫や主張を読み取り、それに対する自分の考えを述べさせる。  ・科学的な知識や技術を得ることで、どのようなことが生じると述べられているかを考えさせる。 ・筆者の意見を捉えたいうえで、自分の意見を述べさせる。 ・筆者の表現の工夫が「読み取り」にどのような印象を与えているのかを考えさせる。  図表の機能や効果について考え、文章の理解をさらに深めることができるようにさせる。  ・P94の図表から本文に加えたほうがよいものを2つ選び、効果を考えさせる。	・多角的な見方・考え方で筆者の主張について、自分の意見をまとめている。【読】【書】(ワークシート)  ・文章の展開の仕方や表現上の工夫、小見出しのつけ方について、自分の考えをまとめている。 【読】(ワークシート)  ・図表を比較し、根拠を明らかにして自分の意見を述べている【読】【話】(様相観察・ワークシート)
三 (本時2/2)	1 ②	5 単元を貫く課題解決を図る。 (1)班で個人の意見を発表し、考えをまとめる。 (2)ポスターセッションを行い、全体で意見を交流する。 【まとめ】 環境をよりよくするために、自分たちができる身近な方策を考えて、生活に生かすことができる。 (3)学習前後の自分の変容を振り返る。【大きな振り返り】	・課題の解決に向けて、互いの考えを生かしたり調整したりできるように進行を工夫して、質疑応答を円滑に展開させる。  ・単元全体を通して、何がわかったのか、何ができるようになったのかを振り返りシートに記述させる。	・課題の解決に向けて、表現を工夫し、説得力のある発言をしている。【話】(様相観察・ワークシート)

6 本時の主眼

○環境をよりよくするために、自分たちが考えた方策を話し合う。

7 振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点

「科学」や事象の捉え方は変容することもあるという多角的な見方・考え方を、小集団による交流活動を通して認識させたい。そこで、第二次では「表現力」「思考力」を伸ばすために、資料活用の工夫や効果について考えさせ、深い読みや伝える力につなげる活動を取り入れた。

8 準備 ワークシート・ポスター(発表用)・マグネット・マジック・ICT機器

9 本時の過程 関心・意欲・態度【関】話すこと・聞くこと【話】書くこと【書】読むこと【読】伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項【伝国】

段階	学習活動・内容	具体的な手立て(支援)	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ	1 前時の学習内容を想起し、本時の学習の見通しを立てる。  (1) 班で発表の確認を行う。 (2) 本時のめあてを確認する。  環境をよりよくするために、自分たちが考えた方策を話し合う。	○ICT機器を使って前時の学習内容を振り返らせる。  ○学習課題を想起し、学習のめあてを確認させる。		一斉 ／ 小集団	5
／ さぐる・深める	2 ポスターセッションを行い、全体で意見を交流する。  (1) 班別にポスターセッションを行う。 (2) 発表後に質疑応答を行う。 ・根拠を明確にして、意見を主張する。 ・疑問や質問などを伝え合い、お互いに評価し合う。(利点や問題点を挙げる。)  3 本時のまとめを確認する。  環境をよりよくするために、自分たちができる身近な方策を考えて、生活に生かすことができる。	○根拠を明確にして説明ができるように、必要であれば助言する。  ○課題の解決に向けて、互いの考えを生かしたり調整したりできるように進行を工夫して、質疑応答を円滑に展開させる。	○課題の解決に向けて、表現を工夫し、説得力のある発言をしている。【話】(様相観察、ワークシート)	小集団 ／ 一斉	35
／ まとめる・振り返る	4 大きな振り返りを行う。 ・単元の学習を終えての振り返りを記述する。 ・意見交流後に、自分の意見が変容したのかどうかを振り返る。 ・全体で意見交流する。	○単元全体を通して、何がわかったのか、何ができるようになったのかを振り返りシートに記述させる。  ○他の意見を聞き、自分の学習前後の変容についても整理させる。		一斉 ↓ 個	10